

受験算数の基礎

Die Grundlagen  
der Arithmetik  
für die Aufnahmeprüfung

試行力問題～子どもから大人まで～

ひょう なら かず さいだいさいしょう  
表に並ぶ数の最大最小・1

ず  
図1のア～カのマスの6つの別の数<sup>べつ</sup>を入れます。図2のように、右のマスの<sup>みぎ</sup>、下のマスの<sup>した</sup>ほど数は大きく<sup>おお</sup>します。

図1

小	→			大
↓	ア	イ	ウ	
↓	エ	オ	カ	
大				

図2

小	→			大
↓	2	8	9	
↓	3	12	23	
大				

6つの数の合計<sup>ごうけい</sup>が100になるとき、ア～カに入る数のうちで最も<sup>はい</sup>大きいものと最も<sup>ちい</sup>小さいものをそれぞれ答えなさい。

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
最も大きい						
最も小さい						

れんしゅうよう  
【練習用】

小	→			大
↓				
↓				
大				

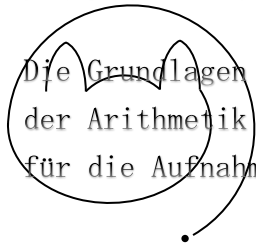
小	→			大
↓				
↓				
大				

小	→			大
↓				
↓				
大				

小	→			大
↓				
↓				
大				

小	→			大
↓				
↓				
大				

小	→			大
↓				
↓				
大				



試行力問題～子どもから大人まで～

表に並ぶ数の最大最小・1

ア～オの最小は次のようになります。また、カの最大はア～オに1～5が入った場合なので、 $100 - (1 + 2 + 3 + 4 + 5) = 85$ です。

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
最も大きい						85
最も小さい	1	2	3	2	4	

アの最大と、カの最小は、ア～カに入る数が近い数の場合なので、  
 $14 + 15 + 16 + 17 + 18 + 19 = 99$ から19を20に変えた  
 $14 + 15 + 16 + 17 + 18 + 20 = 100$ のときの、14と20です。

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
最も大きい	14					85
最も小さい	1	2	3	2	4	20

イの最大は、アが1、エが2で、残りの4マスに近い数が入る場合なので、  
 $100 - (1 + 2) = 97$ 、 $97 = 22 + 24 + 25 + 26$ のときの22です。  
 ウの最大は、アが1、イとエとオが2・3・4で、残りの2マスに近い数が入る場合なので、  
 $100 - (1 + 2 + 3 + 4) = 90$ 、 $90 = 44 + 46$ のときの44です。  
 エの最大は、ア～ウが1～3で、残りの3マスに近い数が入る場合なので、  
 $100 - (1 + 2 + 3) = 94$ 、 $94 = 30 + 31 + 33$ のときの30です。  
 オの最大は、ア～エが1～4で、残りの2マスに近い数が入る場合なので、  
 $100 - (1 + 2 + 3 + 4) = 90$ 、 $90 = 44 + 46$ のときの44です。

答え

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
最も大きい	14	22	44	30	44	85
最も小さい	1	2	3	2	4	20